

次世代バイオ医薬品製造技術研究組合が
第5回日本医療研究開発大賞 経済産業大臣賞を受賞
～GMP準拠製造施設を活用したバイオ医薬品開発への貢献で～



MAB

2021年12月24日

次世代バイオ医薬品製造技術研究組合

次世代バイオ医薬品製造技術研究組合(理事長:仲尾 功一、以下MAB)は、2021年12月24日(金)首相官邸で開催された第5回医療研究開発大賞表彰式において経済産業大臣賞を受賞致しました。

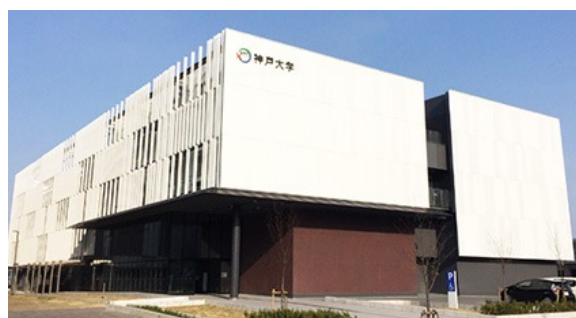
【医療研究開発大賞について】

我が国のみならず世界の医療の発展に向けて、医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした事例に関して、功績を称えることにより、国民の関心と理解を深めるとともに、研究者等のインセンティブを高めることを目的として、平成29年度より行っています。(内閣官房 健康・医療戦略室HPより)

【受賞に至る主要な功績】

- 産学官連携により新規製造技術(国産高性能抗体生産細胞等)を開発、開発成果は製薬各社、製造委託機関等で活用
- 技術開発拠点として、GMP(医薬品の製造管理及び品質管理の基準)準拠の抗体医薬品製造施設を広く提供し、バイオ医薬品開発等を行う企業への製造技術支援、人材育成などに貢献
- PMDA(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)と連携し、バイオ医薬品連続生産における留意事項を策定するなど規制環境整備に貢献
- APEC優良研修センターとして神戸大学と連携し、APEC規制行政官へのGMP査察に関する研修を通じた国際貢献の推進

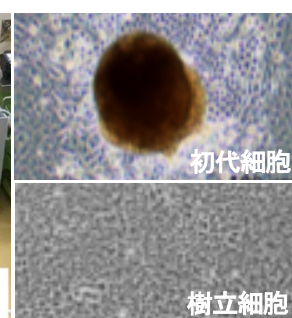
本研究は、AMEDの課題番号(JP20ae0101058)の支援を受けました



MAB GMP準拠製造施設(神戸大学研究拠点内)



GMP準拠培養工程検証実験



初代細胞

樹立細胞

国産高性能抗体生産細胞



APEC規制行政官研修状況

【次世代バイオ医薬品製造技術研究組合(MAB)とは】(MAB HP <http://cho-mab.or.jp>)

技術研究組合法に基づいて、抗体医薬品等に関連する材料、装置、医薬品等に関係する産学官の34機関(現在45機関)が結集して、2013年に設立された研究開発を目的とした共益法人。我が国初の国際規制に対応した抗体医薬の共同利用製造施設を神戸大学の建屋内に整備。

2019年には滋賀県草津市に遺伝子治療医薬品の製造技術を開発するためのオープンラボも設置。

これからもMABは日本の優れたモノづくりの技を有機的に集積し、医薬品製造事業に貢献して、様々な病気で苦しんでいる患者様やそのご家族の皆様のお役に立つべく邁進してまいります。各方面の皆様方の引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

問い合わせ先: 次世代バイオ医薬品製造技術研究組合 事務局長 谷川原 久明
電話:03-3553-5106 Eメール: mail@cho-mab.or.jp